

## 平成 28 年度 経営発達支援計画報告会議議事録

1. 日 時 平成 29 年 2 月 24 日（金）13：15～14：30
2. 場 所 北九州商工会議所 特別会議室
3. 出席者 6 名 ※事務局 2 名含む  
A：女性経営者  
B：税理士・社会保険労務士  
C：大学准教授  
D：市役所担当部署部長

### 4. 報告事項

平成 28 年度北九州商工会議所経営発達支援計画取組について

- (1)経営発達支援計画の認定
- (2)職員の巡回・窓口相談対応状況について
- (3)創業計画策定支援について
- (4)事業計画策定、実行に関する支援について
- (5)新たな需要開拓に関する支援について
- (6)商店街支援について
- (7)職員の資質向上について

### 5. 議事の概要

北九州商工会議所中小企業部長里村より挨拶並びに「経営発達計画」認定経過を説明し、会議に入る。

里村中小企業部長が資料に基づき、平成 28 年度経営発達支援計画活動内容について報告事項（1）～（7）の順に説明した。

その後、各委員と意見交換を実施した。

各委員の意見及び発言は下記の通り。

A：経営計画書のフォームを創業予定者及び小規模事業者に提供できるようにしたことは、大変良い取り組みだと思う。

事業実施に当たって、相談する弁護士・税理士・社労士を確保していることは、経営者にとって重要なことである。よって、当計画遂行に当たって作成されたヒアリングシートのヒアリング項目にその項目を入れ、相談時に確認し、いなければ確保するよう助言したほうが良い。

B：会員企業についての支援は、しっかりできているのではないかと感じる。

創業について、北九州市で創業した事業者の数の内、何事業者が商工会議所の支援により創業したか把握できているか。

また、創業予定者や小規模事業者は商工会議所を知らない者が多いのではないか。特に、創業予定者が商工会議所のことを知り、相談にくる仕組みを検討してほしい。

C：支援体制を体系だって構築されていると感じた。

商工会議所の支援目標やポリシーなどは定められるか。

例えば、モノづくりの街として「製造業の研究開発を強く支援する」、「どの分野の創業を重点支援する」など方針を明確にできれば良いのではないか

D：市と商工会議所は正に企業支援の両輪だと思っている。北九州市開業支援資金では保証料0の施策を平成28年度はスタートさせた。入り口の対策を充実させた一方、その後のフォローアップについて指摘され始めている。その部分で商工会議所と市が連携して支援できればと考えている。

また、本市としての近々の課題として事業承継支援がある。どのように対策を取るべきかが難しいが、当分野も連携してとりこんでいきたい。

最後に、経営発達計画P16にある、「事業の評価及び見直しをするためのしくみに関すること」に基づき、今回の意見を参考に改善を検討し、平成29年度の会議で報告することを確認し、会議を終了した。

各委員の意見を基に、今後の経営発達支援計画遂行に以下を反映、又は取り組みを検討する。

<今後の改善又は取り組み検討>

- ・ヒアリングシートに弁護士・税理士・社労士との関係を確認する項目を追加
- ・外部機関との連携による、ものづくり業種からの相談対応体系の強化を検討
- ・北九州市開業資金利用者のフォローアップに関する北九州市との連携
- ・商工会議所を知らない新規事業者の掘り起こし策を検討

以上